



佐賀大学 SAGA UNIVERSITY

理工学部 FACULTY OF SCIENCE AND ENGINEERING

2024 年 5 月 28 日

大串 浩一郎 教授と理工学部・理工学研究科学生が
令和 6 年度嘉瀬川・六角川・松浦川総合水防演習に参加

【概要】

都市工学部門の大串 浩一郎 教授と理工学部および大学院理工学研究科の学生が、2024 年 5 月 19 日（日）に嘉瀬川河川敷において実施された令和 6 年度嘉瀬川・六角川・松浦川総合水防演習に土のう作成で参加しました。水防演習終了後、佐賀大学に対して感謝状が贈られました。

【本文】

都市工学部門の大串 浩一郎 教授と理工学部 4 年生 6 名と大学院理工学研究科学生 4 名の計 11 名が、2024 年 5 月 19 日（日）午前中に実施された令和 6 年度嘉瀬川・六角川・松浦川総合水防演習に参加しました。

主催は、国土交通省九州地方整備局、佐賀県、佐賀市で、開催場所は、嘉瀬川左岸 7k000 付近の河川敷（佐賀インターナショナルバルーンフェスタ会場）です。参加団体は、自治体 6 市 3 町、消防団 9 団体、関係機関 9 機関など 38 の機関で、演習参加者は、国土交通大臣、九州地方整備局長、佐賀県知事、9 市 3 町首長、国会議員、県議会議員、市議会議員等を含めて、約 600 名に上りました。

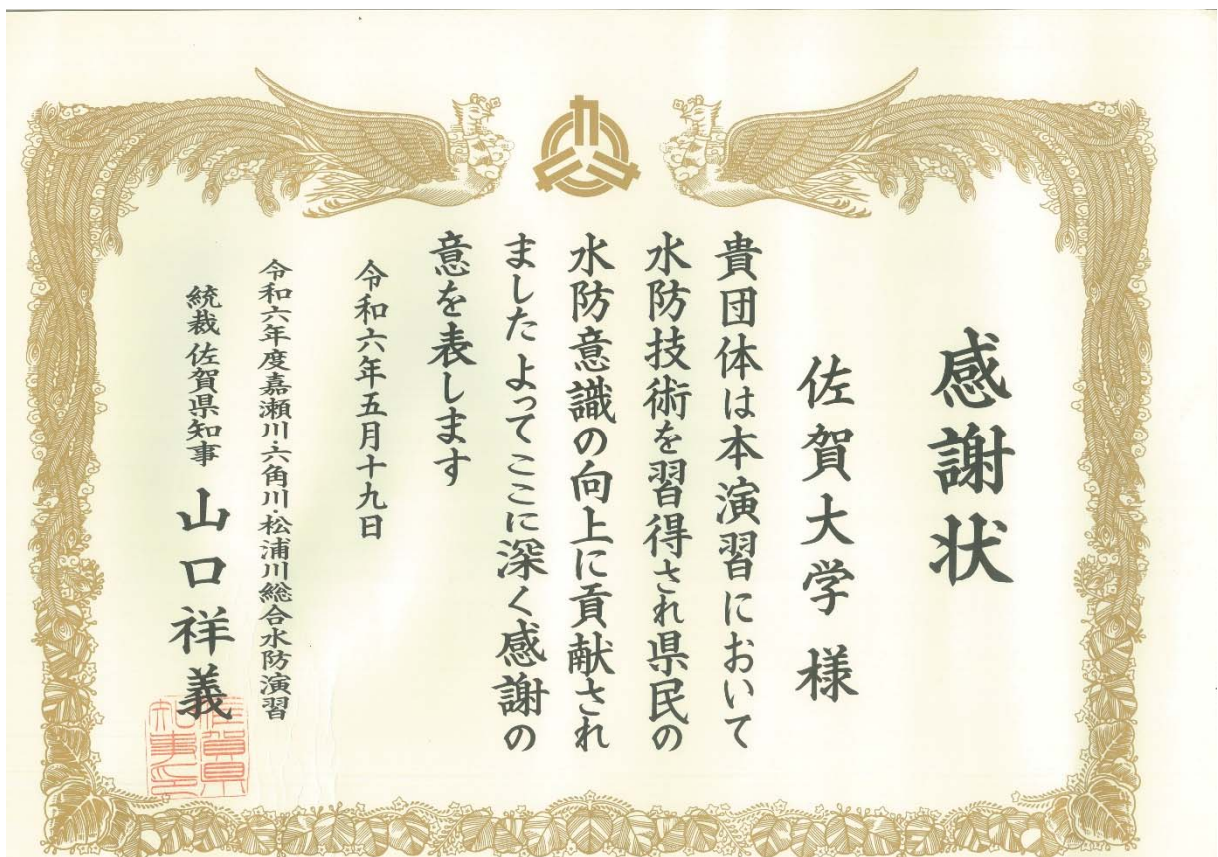
水防活動とは、豪雨や高潮などの水災を警戒し、防御し、及びこれによる被害を軽減する活動のことで、本水防演習では、関係機関の連携による氾濫警戒情報の発令・伝達や水防警戒、水防活動、避難誘導、救助、支援など早急に行わなければならない措置を的確に実施できるような訓練が行われました。

特に堤防の決壊を未然に防ぎ、水害を最小限に食い止めるための活動は水防工法と呼ばれ、状況に応じて最適な水防工法の選択が必要となります。水防工法には、漏水対策工法、洗掘対策工法、越水対策工法など多岐の工法がありますが、それらの工法で利用する土のう作りを佐賀大学の参加者と地元のまちづくり協議会で共同して実施しました。

水防演習終了後、佐賀県知事より感謝状が佐賀大学に対して贈られました。



総合水防演習に参加した学生たち



演習終了後にいただいた感謝状